



つながる

令和5年11月6日
 特別支援教室拠点校
 江戸川区立北小岩小学校
 校長 藤島 寿晴
 特別支援教室「つながる」
 巡回指導だより No.8

日が落ちるのが早くなり、秋から冬への季節の変化を感じますね。朝晩の気温差があるため、子どもたちが体調を崩さないように、気温に合わせた衣服の調整等をお願いします。

今年も残り2カ月。特別支援教室での指導も、2学期のまとめに入っていきます。



国語の教科書を活用してみませんか？～教科書の巻末「ふろく」を見てみましょう～

ふろく 言葉の木

その学年で身に付けてほしい言葉が載っています。お子さんと、例文を作ってみたり、他の言葉を探してみたりするのは、どうでしょうか？意外にも、知らない言葉、知っているけど意味があいまいな言葉がたくさんあるかもしれません。さらに、国語辞典やタブレットで調べるようにすることで、語彙を知るだけでなく、「調べる力」をつけることにもつながっていきますよ。

例：『もじもじする(「表す」)』って、どんな時に使うかな？

【(3年生 下) ふろく 言葉の木(心の木) P.140】

例：見た感じ・・・まばゆい、ぴかぴか、あざやか、まぶしい、白い、青々と

↳ 例文：まばゆいばかりの美しさ

【(4年生 上) ふろく 言葉の木(感じの木) P.138】

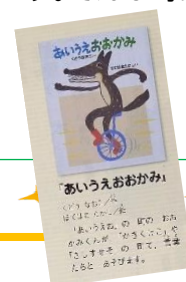


ふろく ○年生で読みたい本

物語に限らず、様々な分野の本が紹介をされています。その学年向けの本なので、1冊は読んでおきたいところです。各学校、「読書週間」や「読書月間」といった読書を推進する取り組みがあるかと思います。そんな時に、ぜひお子さんに教科書の本をおすすめしてください。

特に、「オノマトペ」や「音」などの本は、本が苦手なお子さんでも楽しめるかもしれません。

例：「あいうえおおかみ」【(2年生 上) ふろく 2年生で読みたい本② P.142】



道具選びは、大切です！

「今使っているものがあるか、フィッティングしてみてもいいかな？」できれば、様々な文具を実際に親子で使ってみて、いろいろな感想を言いながら、一番使いやすい文房具を見つけてください！そうすることで、苦手意識が和らいだり、道具をなくす回数が減ったりするかもしれません。ちなみに・・・道具への記名だけでなく、シールやマスキングテープを貼ると、一目で自分のものだとわかりやすくなりますよ。

① 定規(三角定規や分度器なども)・・・滑り止めがついているもの、メモリが大きいものなどがあります。

② コンパス・・・回しやすいようになっているもの、つまみやすくなっているものなどがあります。

③ 鉛筆や消しゴム・・・鉛筆は、たくさんのメーカーから用途に合わせて様々な種類のものが販売されています。紙の上に書いた時の書き味の滑らかさ、色の濃さ、消しゴムの消えやすさなどが違います。消しゴムも、なるべく少ないストレスで、きれいに消せる消しゴムがいいですよ。

